

## 【研究主題】

# 自ら考え 自分で みんなで 学び続ける 自律した学び手の育成 ～各教科の資質・能力が身に付き、自律した学びが実現する授業づくり～

## 1. 主題設定の理由

本校はこれまで、主体的に学ぶ児童の育成を掲げ、「わかった」「やってみたい」と実感できる授業作りを目指して算数科の研究を進めてきた。児童が自ら動き出す授業になるよう、意欲を引き出す工夫や個に応じた手立ての工夫などに取り組んできた。導入の工夫により、児童は課題意識を高め、意欲の高まりも見られた。また、子どもに委ねる場面の設定も意識したこと、少しづつ主体的に学びに向かう姿も見られた。しかし、学力の定着に課題があり、さらに1単位時間や単元を通して課題意識が持続することは難しいという実態が見られた。教師側の意識としても、自律した学び手を育てたいという思いがありながら、具体的な手立てが見えないために指導に迷うことが多かった。

今年度は、加賀市の授業づくりの重点にある「子どもに委ねる学び3.0」にある「自律した学びのねらいと教科のねらい」の2軸を意識することを大切にし、教科を絞らずに研究を進めていく。「児童がどのように学ぶか」という指導観に立ち、環境設計やユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを行っていくことで、児童が主体の授業づくりを進めていく。児童が教科のねらいを達成するために、自ら選択・判断・決定する場面を増やし、ICTを効果的に活用しながら子どもが学びの主体者となるよう研究を進めていきたい。2学期には単元内自由進度学習に全学級で挑戦し、子どもには単元すべてを自分で学んでいく経験をさせ、自己調整力の育成を図っていく。教員は単元全体を見通して教材研究する力や様々な特性を持つ子どもの学び方を想定した教材準備をする力を伸ばし、子どもも教員も成長できる研究としていきたい。

## 2. めざす子どもの姿

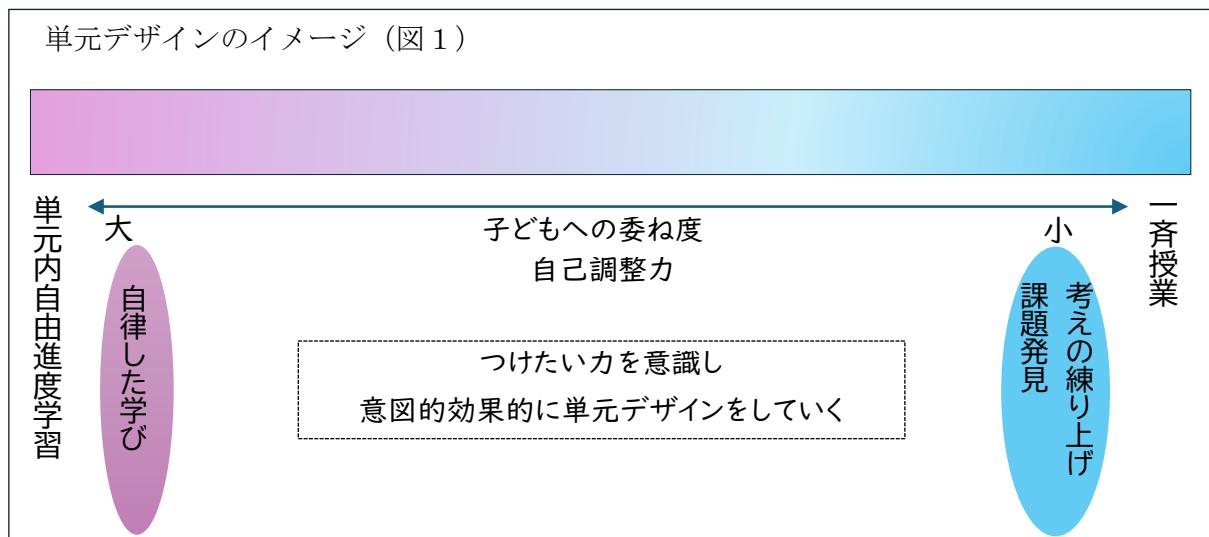
自分に合った学び方を選択し、自分らしく学ぶことを楽しむ子  
粘り強く最後まで取り組む子  
困っても解決に向けて行動できる子  
自分の学びを自分の言葉で語れる子

### 3. 研究内容

各教科の資質・能力を身に付け、自律した学びを実現するために

#### (1) 単元デザイン

- ・単元の中や1単位時間の中で、どこをどのように子どもに委ねることが各教科等の資質・能力を身に付け、自律した学び手の育成につながるのかを考え、意図的・効果的に設計していく。(図1)



- ・自己調整力が最も育まれる「単元内自由進度学習」は、2学期に1回実施し、日々の授業は図1にあるようなグラデーションの中で、児童に育みたい力を意図して授業を組み立てていき、「単元内自由進度学習」と日々の授業それぞれのよさを互いに往還させながら、バランスよく子どもに力をつけていく。

#### (2) 多様な選択の設定

- ・学習場所、学習形態、学習内容、学習順序等を児童が選択、自己決定する場を設定し、一人一人が授業の主体者として学びを進めていく。

#### (3) 環境設計

- ・自律した学びを実現するために、どの子も自分らしく学べるような教材教具を事前に準備する。
- ・子どもの導線を考えた教材教具の設置を行う。
- ・各学級の教室や特別教室、図書室など、学びの場所を柔軟に設定し、子どもが自分

の目的に合った学び方ができるようにする。

#### (4) デジタルとアナログのベストミックス

- ・デジタル、アナログ（リアル）それぞれのよさや特徴を生かし、各教科の資質・能力が身に付くように教材準備を行う。
- ・子ども一人一人の特性や興味関心を想定し、どの子も自分に合った学び方で学べるよう準備をする。
- ・オクリンクプラスの「マイポート」と「みんなのボード」を活用し、個別と協働の往還のある授業を実施していく。
- ・学習内容、学習計画、振り返り、ヒントとなる情報等を児童のタブレット端末に入れておき、児童が見通しを持って学習を進められるようにする。

#### (5) 自分の学びを自分で語る取組

- ・学習のめあてを立て、自分で選択・決定を繰り返して進めてきた学習がどうであつたかを振り返ることで、子どもの中に自己調整力が育ち、自律した学び手となっていくので、振り返りを大切にしていく。
- ・「いつ、どこで、どんな方法で、誰と学習したか」「その結果どうなったか」「そして何がわかり、気づいたか」「次にどう生かしていくか」など、具体的に語ることができるようにする。

#### (6) 単元内自由進度学習

- ・2学期に2教科同時進行単元内自由進度学習に全学級で取り組み、すべての子どもたちに各教科の資質・能力と自己調整力を育む授業を行う。
- ・単元内自由進度学習で養われた自己調整力を日々の授業や学校活動の中で生かしていく。

#### 4. 研究計画

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（今年度の研究について）</li> <li>・研究内容の共通理解</li> <li>・研究全体会（子どもに委ねる学びについて） (I C Tを活用した授業づくりについて)</li> <li>・研究全体会（オクリンクプラスの活用について）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（自己調整力育成のための授業づくりについて）</li> <li>・提案授業、授業整理会</li> <li>・研究全体会（子どもに委ねる学びの実践交流、振り返りの書き方にについて）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（子どもに委ねる学びの実践交流）</li> <li>・単元内自由進度学習の先進校視察</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（2学期実践の単元内自由進度学習単元の教材研究会）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクタンの結果の分析</li> <li>・庄小学校と合同研修会（単元内自由進度学習単元の教材研究会）</li> <li>・単元内自由進度学習の教材教具作成会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（ガイダンスや学習中の教師のあり方について）</li> <li>・単元内自由進度学習の教材教具作成会、環境作り</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元内自由進度学習の実施（全学級）と保護者、C Sへの学校公開</li> <li>・研究全体会（単元内自由進度学習での様子について）</li> <li>・他校への視察</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（単元内自由進度学習実施の振り返り、日々の授業への生かし方について）</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（2学期の振り返り）</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（子どもに委ねる学び、振り返りについて）</li> <li>・子どもに委ねる学びの実践交流</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに委ねる学びの実践交流</li> <li>・研究全体会（今年度の研究の振り返り、研究のまとめ）</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会（来年度の研究の方向性、研究計画立案）</li> </ul>